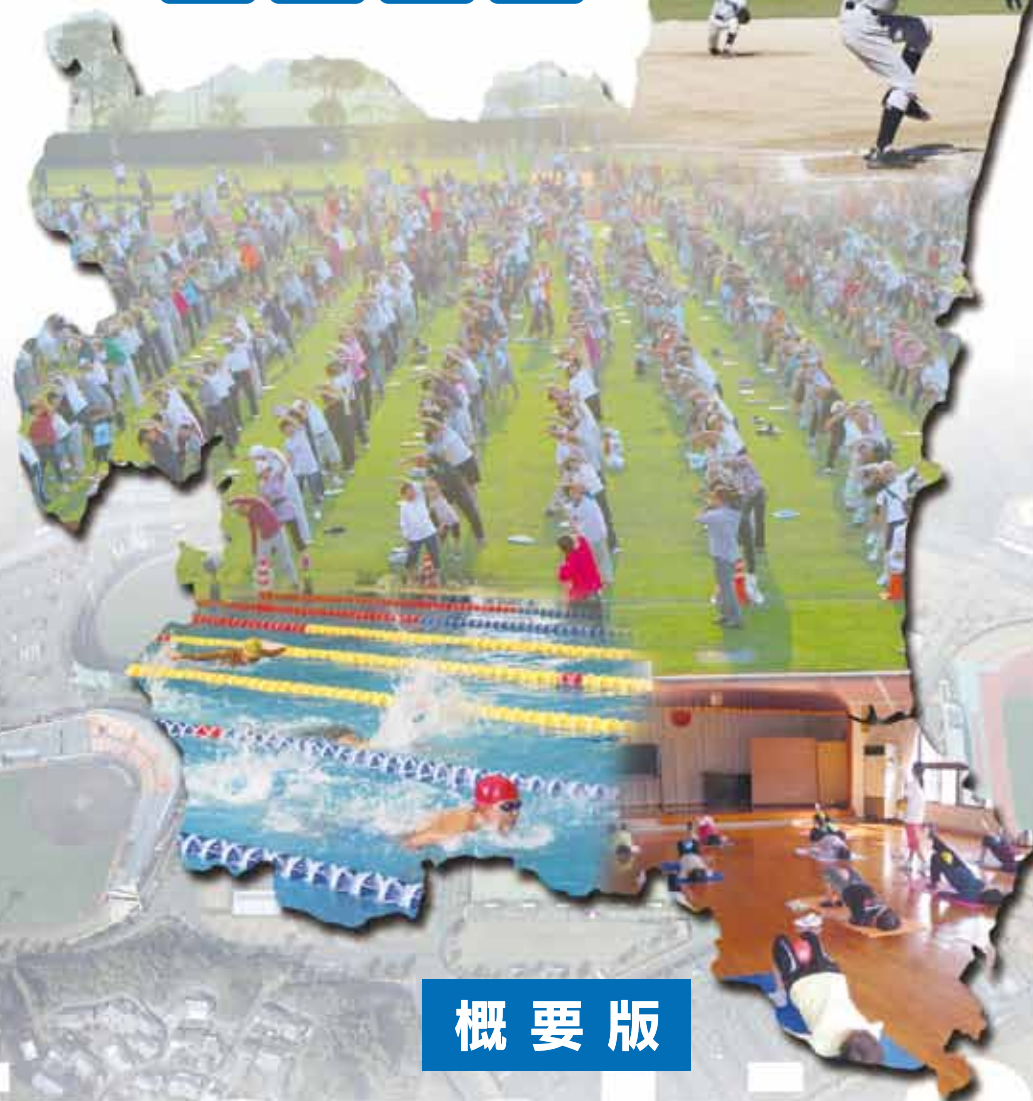


2015 - 2024

Miyazaki City
Sports Promotion Plan



概要版

宮崎市スポーツ推進計画

2015 - 2024

平成27年 3月

宮 崎 市

第1章 宮崎市スポーツ推進計画策定の趣旨



1. 計画策定の趣旨

私たちを取り巻く環境は、少子化による人口減少や高齢化が一層進み、社会環境や価値観など急激に変化しています。そのような背景の中、人々の健康志向が高まり、健康で豊かな暮らしをする上で欠かすことのできない運動・スポーツの果たす役割が見直されてきています。

本市は、平成18年1月に佐土原町、田野町、高岡町と、平成22年3月に清武町と合併し、自然や歴史、文化など多様な資源のほか、新たなスポーツ環境に恵まれた40万人を越える都市となり、新たな街づくりに取り組んでいます。

このようなことから、市民一人ひとりが自分の体力や能力に応じて、生涯にわたり、気軽に運動・スポーツを楽しめるスポーツライフを実現するため、時代の変化や市民ニーズに即した新たな計画を策定するものです。

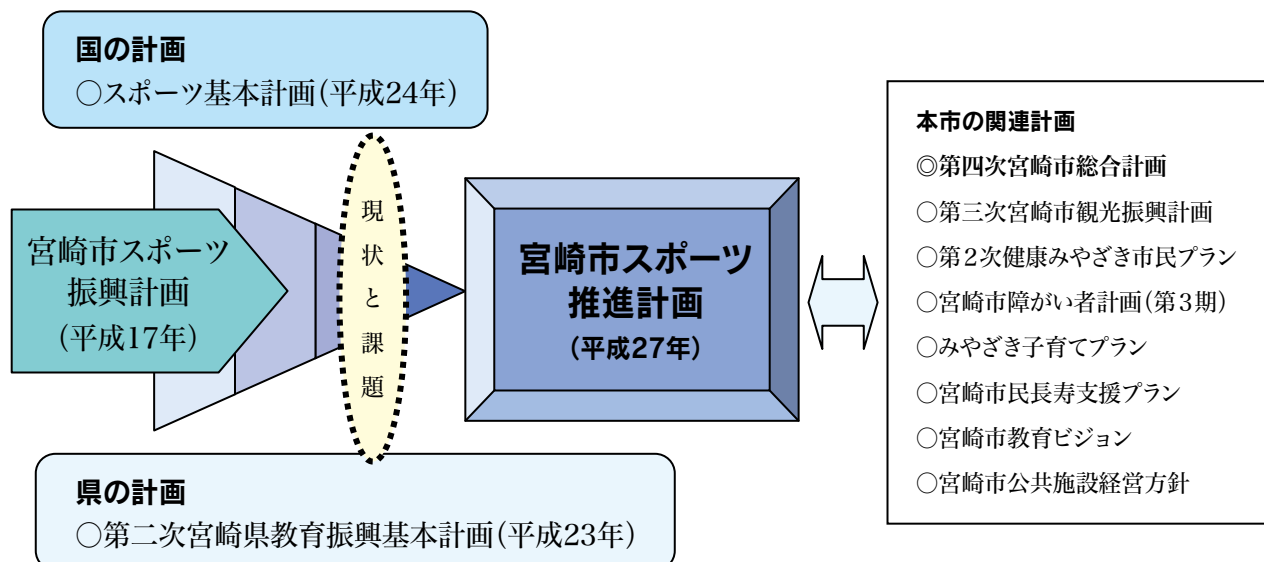
2. 計画期間と区域

本計画は、平成27年度を初年度とし、平成36年度を目標年度とする10年計画とします。対象区域は現市域としますが、社会・経済の情勢等も考慮しながら、柔軟かつ弾力的に計画を推進し、中間年度において必要な見直しや対応をとることとします。

3. 策定方針

本計画の策定にあたっては、現計画に基づいて実施してきた施策の現状や課題を踏まえながら、本市の関連計画との整合性を図り、運動・スポーツを取り巻く背景や新たな視点を組み込んだ内容とします。

◆本プランの位置づけ



第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境



1. 社会的な環境の変化

近年、我が国の社会環境は、少子高齢化の進行や情報化の進展、税や社会保障における負担の増大などめまぐるしく変化しています。

そのような中、子どもたちのスポーツ離れや高齢者の体力づくり、健康志向の高まりなど、スポーツを取り巻く環境も、社会情勢の変化とともに大きく変化してきています。

平成17年3月の「宮崎市スポーツ振興計画」策定時から、本市の社会情勢、運動・スポーツ環境が変化する中、個々のライフスタイルやニーズに応じて、対策を講じながら、「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」生涯スポーツ社会の実現に取り組むことは、本市全体の活性化にもつながっていくものと考えます。



▲市制90周年イベント ラジオ体操会

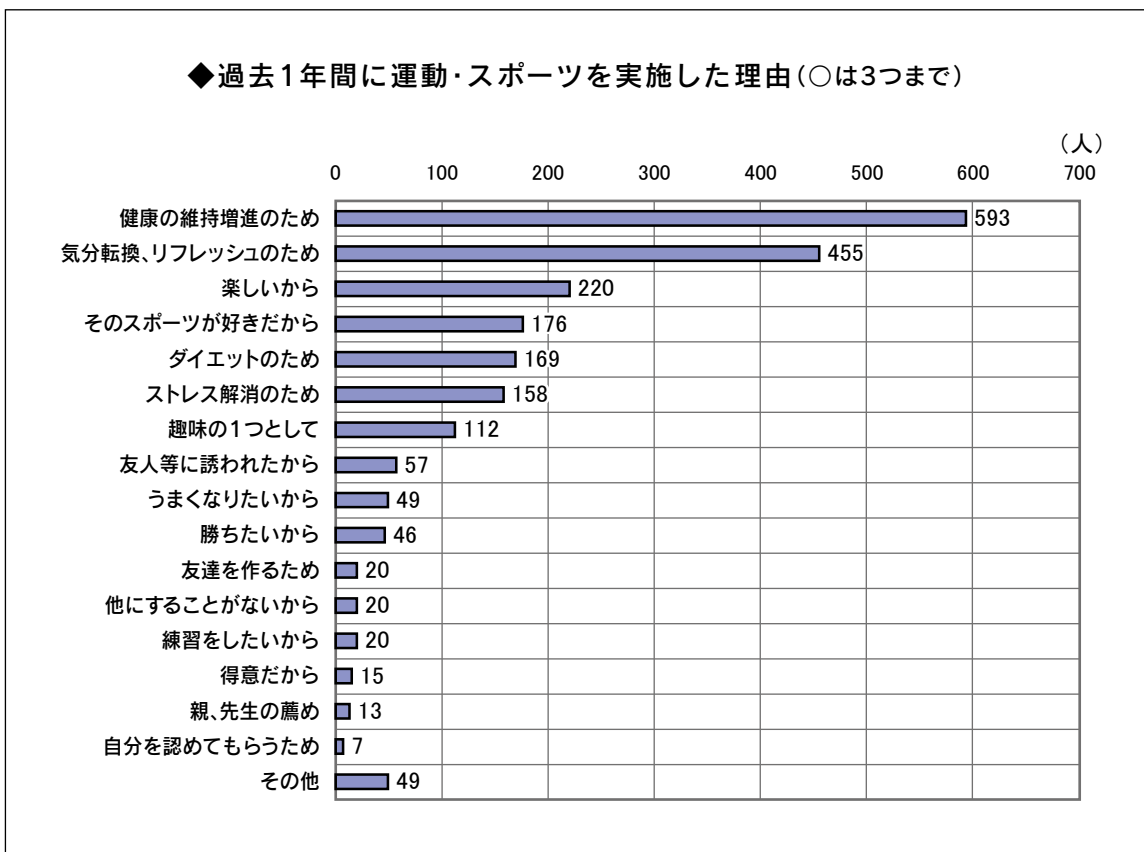
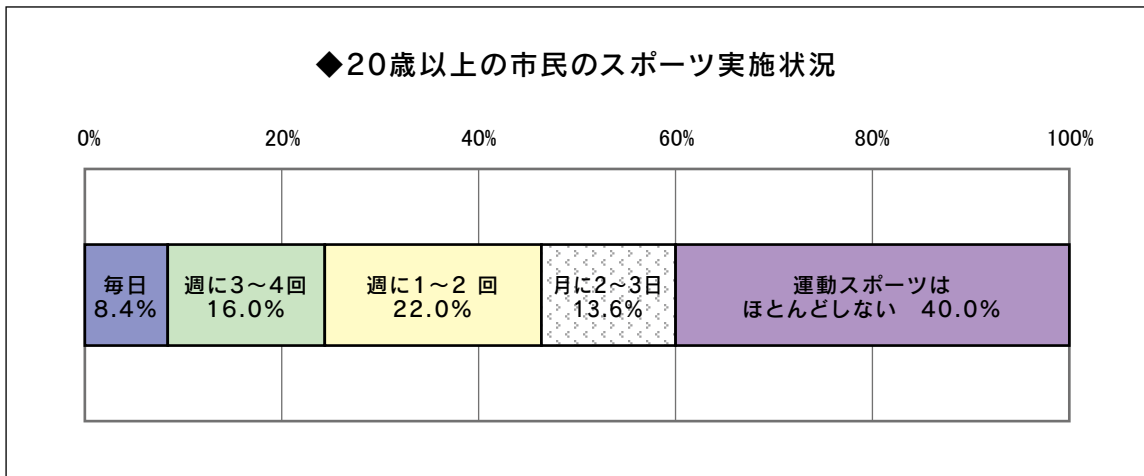
2.本市の運動・スポーツの現状と課題

(1)市民のスポーツの状況

1.市民の運動・スポーツ実施率とその理由

市民意識調査によると、20歳以上の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、46.4%という結果でした。

今後は、国の計画で目指す「できるだけ早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)」に近づけるよう、本市においても市民スポーツの推進に取り組んで行く必要があります。

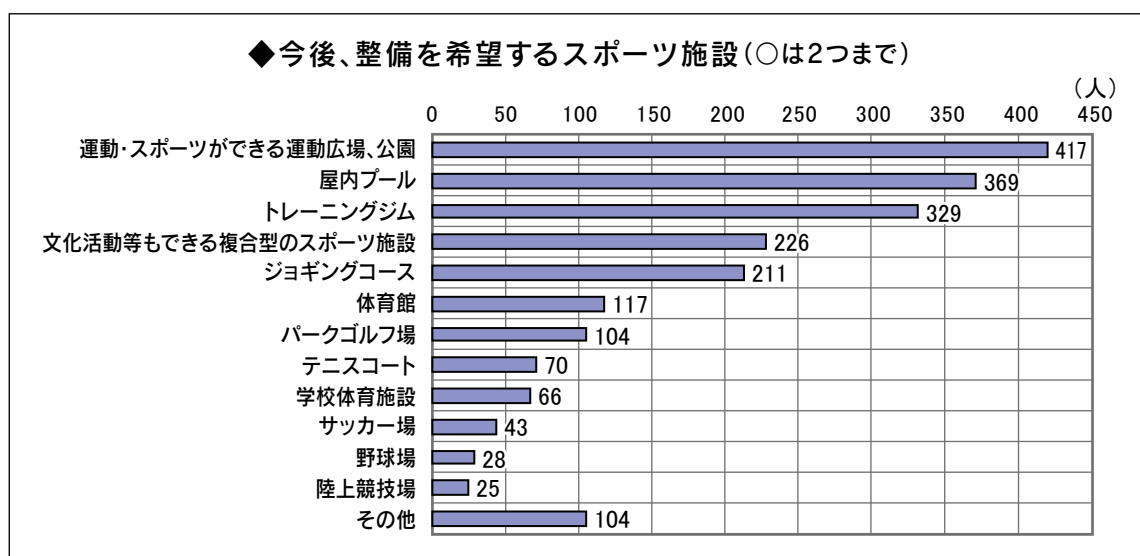
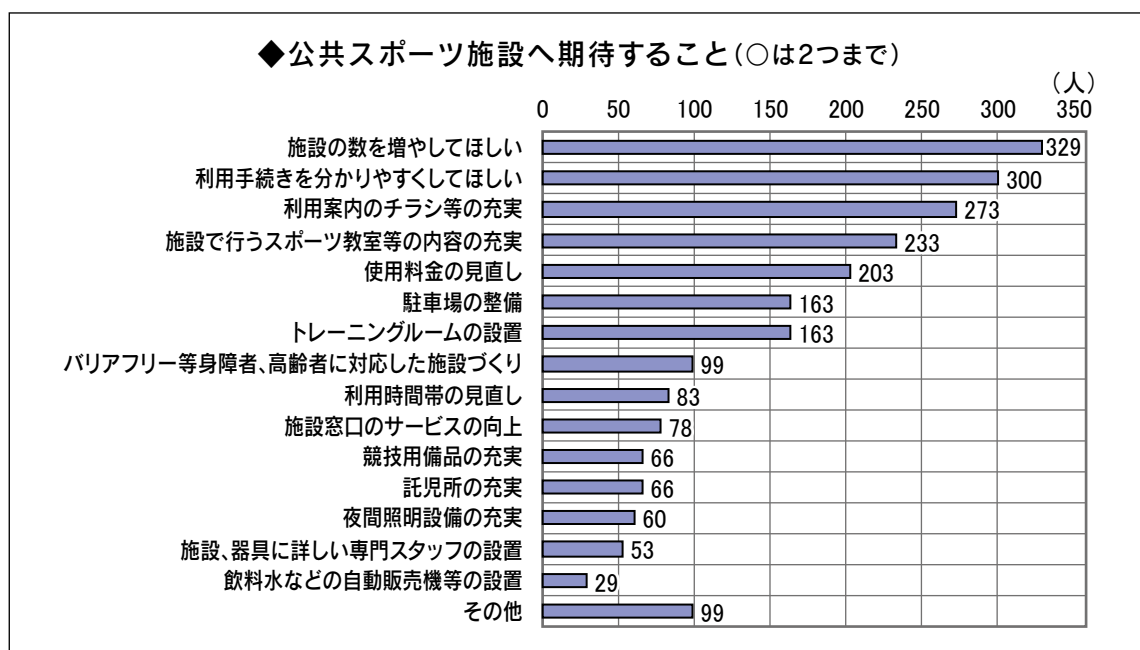


2. スポーツ施設及び利用者のニーズ

市民が、現在の公共スポーツ施設に期待することは、市民意識調査によると、「施設の数を増やしてほしい」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」などが多く挙げられています。

また、今後、整備を希望する公共スポーツ施設については、「運動・スポーツができる運動広場、公園」、「屋内プール」、「トレーニングジム」が上位に挙がっています。

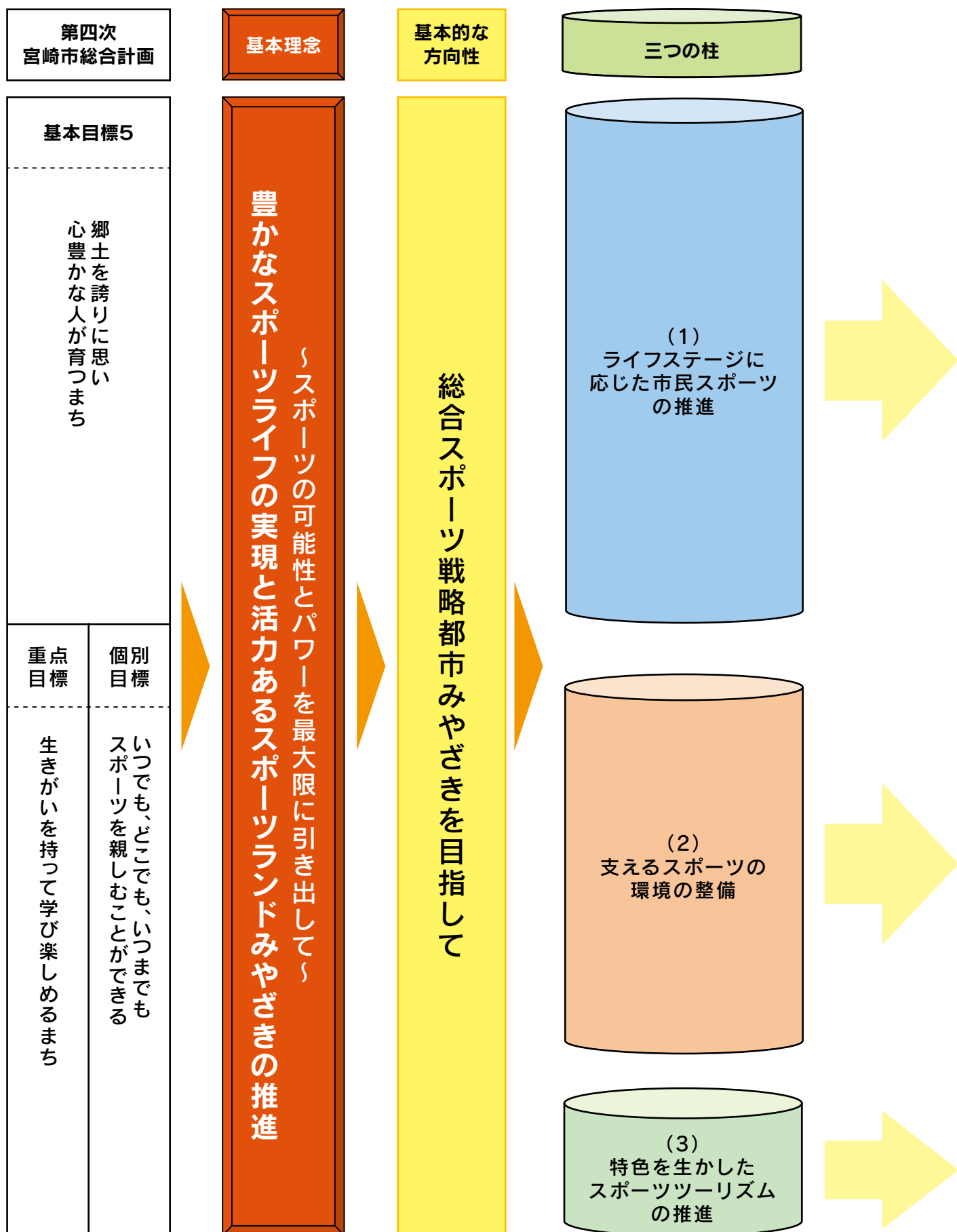
利用者が、身近に利用しやすい公共スポーツ施設として、既存施設の機能維持を図り、また施設の管理運営を行う指定管理者と連携しながら、市民が利用しやすい施設づくりやサービスの向上等を図っていく必要があります。



◇指定管理者制度とは？

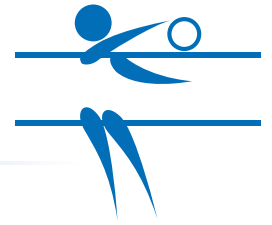
公の施設のより効果的・効率的な管理を行うため、その管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や経費削減等を図るために導入された管理者制度です。

◆ 宮崎市スポーツ推進計画の体系図 平成27年度～平成36年度



重点項目	施策	具体的取組
1) 地域スポーツの推進	1)-1 地域スポーツの活性化	① 地域主体の市民スポーツの推進 ② 総合型地域スポーツクラブの地域密着化
	1)-2 スポーツライフの定着化	① 各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実 ② 市民の運動・スポーツの実施率の向上
2) 障がい者スポーツの推進	2)-1 障がい者スポーツの普及・拡大	① 障がい者のスポーツ活動・交流の推進 ② 障がい者にやさしいスポーツ環境の整備
3) 子どものスポーツの育成・強化	3)-1 子どもの体力向上	① 幼児期からの子どもの運動機会の充実 ② 学校体育の充実
	3)-2 スポーツ少年団、運動部活動の充実	① 小中学校と地域との連携強化
	3)-3 児童生徒の競技力向上	① ジュニアアスリートの発掘、育成 ② 指導者の育成と資質向上
4) 高齢者スポーツの推進	4)-1 高齢者スポーツの普及・拡大	① 高齢者が参加しやすいスポーツ教室等の推進 ② 高齢者にやさしいスポーツ環境の整備
1) 運動・スポーツ指導者等の育成	1)-1 スポーツ推進委員等の充実	① スポーツ推進委員の育成・資質の向上
	1)-2 スポーツボランティアの充実	① スポーツボランティアの育成・体制確立
2) スポーツメディカル体制の整備	2)-1 スポーツメディカル体制の充実	① スポーツメディカル体制の推進
3) スポーツ施設の整備	3)-1 スポーツ施設の充実	① 公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備 ② 公共スポーツ施設の長寿命化
	3)-2 スポーツ施設の利便性の向上	① 指定管理者制度におけるサービスの向上 ② 学校体育施設の活用
4) ネットワークの整備	4)-1 スポーツ関連情報提供の充実	① スポーツの広報・周知活動の推進 ② スポーツ関連情報の一元化
1) スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致	1)-1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致	① 国際・全国大会、合宿の誘致・受入れ ② 2020年東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致
	1)-2 スポーツ選手との交流推進	① トップレベル選手等との交流機会の充実

第3章 施策の展開



1.計画の基本理念

本市では、「第四次宮崎市総合計画」において、将来像として「活力と緑あふれる太陽都市・・・みやざき・・・」とし、太陽と緑に象徴される本県の県都として、また、南九州の中核市として発展をしてきました。その計画の5つの基本目標の1つとして、「郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち」とし、「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」を目標に掲げ、各施策を積極的に推進しています。

市民が健康で豊かな生活を営む上で必要不可欠なスポーツは、人と人の交流だけでなく、地域間交流を図るなど地域の再生や活力も生み出します。また、本市は兼ねてより、スポーツの持つ魅力や可能性を活用して、「スポーツランドみやざき」を掲げた街づくりも推進しています。

このようなことから、基本理念を「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの推進」とし、この基本理念の実現のため、本市のスポーツの魅力をも十分に生かした「総合スポーツ戦略都市みやざき」を基本的な方向性として定めたところです。

基本理念

豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの推進
～スポーツの可能性とパワーを最大限に引き出して～

基本的な方向性

総合スポーツ戦略都市みやざきを目指して



▲ジュニアアスリート強化推進事業
(バレーボール競技)



▲ジュニアアスリート選手を対象にした
メディカルチェック事業

2. 施策と具体的取組

基本理念、基本的な方向性を支える3つの柱、「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」、「支えるスポーツの環境の整備」、「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」に基づき、9つの重点項目を掲げ、各施策、具体的取組を示します。

1つ目の柱

(1) ライフステージに応じた市民スポーツの推進

社会全体が少子高齢化や地域社会の交流の希薄化、社会保障への負担増など大きく様変わりしている中、本市も取り巻く環境が同様に変化してきています。

そのような中、運動・スポーツは充実感や達成感を得ることができ、青少年の健全育成、地域社会の再生や健康増進、また社会・経済の活力の創出など、多方面に好循環をもたらします。

そこで、市民の生活スタイルや仕事、結婚などを生涯の節目とし、体力、興味、目的に応じた運動・スポーツを推進していけるよう、「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」を1つ目の柱として掲げ、4つの重点項目、それぞれを達成するための9項目の施策に取り組みます。

【成果指標】※重点項目ごとに成果指標を設定

成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	目標値(H36年度)	65%
市主催の障がい者スポーツ大会の参加人数	目標値(H36年度)	1,000人
全国スポーツ大会に出場した児童生徒(小・中・高)数	目標値(H36年度)	1,000人
高齢者(65歳以上)の週1回以上の運動・スポーツ実施率	目標値(H36年度)	70%

2つ目の柱

(2) 支えるスポーツの環境の整備

運動・スポーツを「する」側の存在があると同時に、その活動を「支える」側も存在することになります。本計画では、子どもの体力向上や競技力向上を支える指導者のほか、スポーツ大会を支えるスポーツボランティアなどの人材を「支えるスポーツ」における重要な要素と捉えています。

また、人材以外に、運動・スポーツをする「場」の整備も、「支えるスポーツ」を推進する上で、重要な要素と考えています。

上記のようなことから、本市として、「支えるスポーツの環境の整備」を2つ目の柱として、市民をはじめ、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を人材面、施設面の両面から4つの重点項目を定め、それぞれの目標を達成するため6項目の施策に取り組みます。

【成果指標】

スポーツ大会や地域でのスポーツイベントのスポーツボランティア参加率	目標値(H36年度)	10%
本市のスポーツメディカル事業の利用団体数	目標値(H36年度)	80団体
公共スポーツ施設の利用者の満足度割合	目標値(H36年度)	80%
市主催、共催で行われるスポーツ教室、健康づくり教室等の延べ参加者数	目標値(H36年度)	60,000人

3つ目の柱

(3)特色を生かしたスポーツツーリズムの推進

本市は食、神話、花、そしてスポーツといった宮崎らしさを生かし、将来を担う「ひと」づくり、地域の「きずな」づくり、「げんき」なまちづくりに取り組んでいます。

宮崎らしさの一つとして挙げられるスポーツは「躍動の源」として、市民に元気や活力を与えてくれます。本市では年間を通して、全国大会や国際大会、プロスポーツのキャンプ等が行われ、国内外に宮崎の魅力を発信しています。

各種スポーツ大会やキャンプの誘致・受入れと併せ、本計画の基本理念にもある、スポーツの持つ可能性とパワーを最大限に引き出すことができるよう、宮崎らしい資源を生かした「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」を3つ目の柱として掲げ、1つの重点項目を定め、2項目の施策に取り組みます。

【成果指標】

トップレベルの選手等との教室や交流会に参加した児童生徒数・・・**目標値(H36年度) 5,000人**



▲全日本グランドベテランソフトテニス大会



▲レディースベースボールクリニック

第4章 計画の推進に向けて



スポーツ推進体制の整備

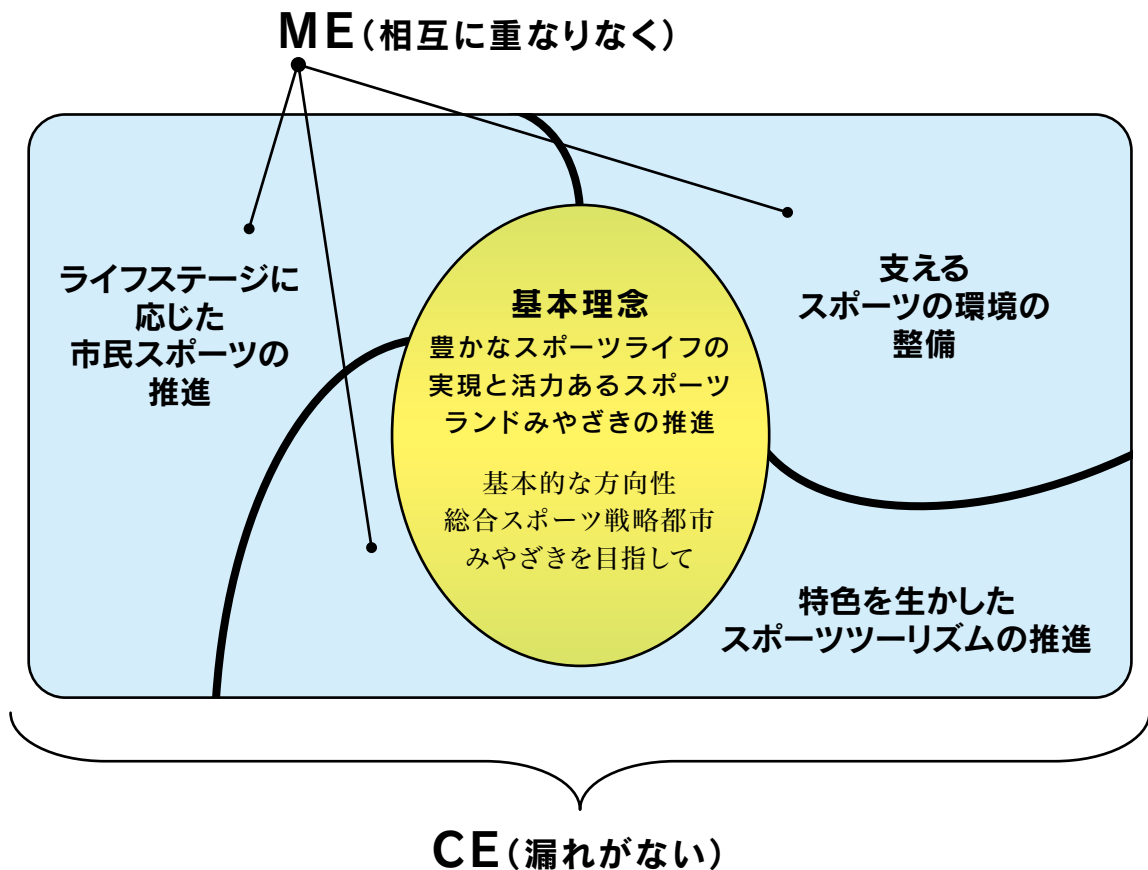
「3つの柱」の相互連動

本計画の基本理念「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやぎきの推進」を支える3つの柱「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」、「支えるスポーツの環境の整備」、「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」の各々がMECE(ミッシェ)という概念を基に、連携と相互の連動を図ることにより、効果的に施策が展開されるよう努めます。

【宮崎市のスポーツ推進体制】

MECE(ミッシェ)とは?…ある事柄を重なりなく、しかも漏れのない集合体として捉えること。

Mutually **E**xclusive **C**ollectively **E**xhaustive
(相互に重なりなく) (漏れがない)





▲清武総合運動公園



▲市総合体育館



▲生目の杜運動公園



宮崎市スポーツ推進計画(概要版)

【編集・発行】宮崎市

【発行年月】平成27年3月

【お問合せ先】〒880-8505 宮崎市橘通西一丁目1番1号

宮崎市地域振興部 文化スポーツ課

TEL 0985-21-1835

FAX 0985-20-1564

E-mail 45taiiku@city.miyazaki.miyazaki.jp



宮崎市観光
イメージキャラクター
ミツシちゃん
